

平成 30 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 30 年 1 月 31 日

上場会社名 ダイソーケミックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4366 URL <http://www.daitochemix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 永松 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 南 修一 (TEL) 06 (6911) 9310
 四半期報告書提出予定日 平成 30 年 2 月 14 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 3 月期第 3 四半期	9,203	△0.8	975	△14.6	975	△9.2	857	△8.5
29 年 3 月期第 3 四半期	9,273	26.8	1,141	183.4	1,073	142.5	937	—

(注) 包括利益 30 年 3 月期第 3 四半期 1,151 百万円 (0.7%) 29 年 3 月期第 3 四半期 1,143 百万円 (—)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30 年 3 月期第 3 四半期	79 90	—
29 年 3 月期第 3 四半期	87 29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30 年 3 月期第 3 四半期	16,822	10,457	62.2
29 年 3 月期	15,257	9,425	61.8

(参考) 自己資本 30 年 3 月期第 3 四半期 10,457 百万円 29 年 3 月期 9,425 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 3 月期	—	0 00	—	6 00	6 00
30 年 3 月期	—	5 00	—		
30 年 3 月期(予想)				5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	12,500	5.0	1,000	△13.5	1,000	△8.4	1,100	△28.8	102 46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	11,400,000株	29年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	664,255株	29年3月期	662,053株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	10,736,371株	29年3月期3Q	10,741,381株

※決算短信は監査の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(単元株式数の変更)

平成29年4月28日開催の取締役会において、単元株式数の変更について決議いたしました。これにより、平成29年10月1日付で単元株式数が1,000株から100株に変更となりました。

変更の理由は、全国証券取引所の「売買単位集約に向けた行動計画」にて、普通株式の売買単位を100株に統一することが示されていることを踏まえ、当社株式の流動性を一層向上させ、個人投資家をはじめとする投資家層の拡大を図るため、単元株式数の引き下げを行うものであります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に雇用情勢や設備投資が堅調に推移しているなど回復基調にあるものの、個人消費持ち直しの停滞などの懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動やコスト削減活動に全力をあげるとともに、先端の半導体用感光性材料、フラットパネルディスプレイ周辺材料、イメージング材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理、リサイクルの特殊技術開発などに積極的に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は92億3百万円（前年同四半期比0.8%減）、経常利益は9億75百万円（前年同四半期比9.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億57百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は前期末比15億65百万円増の168億22百万円となりました。流動資産は前期末比9億65百万円増の88億66百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加であります。固定資産は前期末比5億99百万円増の79億55百万円となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具、株価上昇による投資有価証券の増加であります。

負債合計は前期末比5億32百万円増の63億65百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、社債の増加であります。

純資産は前期末比10億32百万円増の104億57百万円となりました。主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加であります。

これにより自己資本比率は62.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成30年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228	2,528
受取手形及び売掛金	2,143	2,636
有価証券	400	—
商品及び製品	780	749
仕掛品	1,175	1,700
原材料及び貯蔵品	783	827
その他	389	423
流動資産合計	7,901	8,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456	1,434
機械装置及び運搬具(純額)	359	542
土地	2,990	2,903
その他(純額)	274	365
有形固定資産合計	5,080	5,245
無形固定資産	225	291
投資その他の資産		
投資有価証券	1,657	2,081
その他	392	337
投資その他の資産合計	2,049	2,418
固定資産合計	7,356	7,955
資産合計	15,257	16,822
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	816	1,070
短期借入金	700	850
1年内償還予定の社債	129	147
1年内返済予定の長期借入金	461	432
未払法人税等	249	37
賞与引当金	289	148
役員賞与引当金	34	10
前受金	429	430
その他	844	827
流動負債合計	3,953	3,955
固定負債		
社債	474	787
長期借入金	1,101	1,191
退職給付に係る負債	15	20
その他	287	410
固定負債合計	1,878	2,409
負債合計	5,832	6,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	1,919	2,659
自己株式	△354	△355
株主資本合計	8,887	9,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423	711
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	114	120
その他の包括利益累計額合計	537	831
純資産合計	9,425	10,457
負債純資産合計	15,257	16,822

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,273	9,203
売上原価	7,475	7,530
売上総利益	1,798	1,673
販売費及び一般管理費	656	698
営業利益	1,141	975
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	24
不動産賃貸料	10	12
持分法による投資利益	—	3
雑収入	7	18
営業外収益合計	43	59
営業外費用		
支払利息	23	17
支払手数料	21	—
社債発行費	12	10
為替差損	34	1
持分法による投資損失	2	—
固定資産除却損	2	18
雑損失	14	11
営業外費用合計	110	59
経常利益	1,073	975
特別利益		
固定資産売却益	—	16
特別利益合計	—	16
税金等調整前四半期純利益	1,073	991
法人税等	136	133
四半期純利益	937	857
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	937	857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	287
繰延ヘッジ損益	18	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	6
その他の包括利益合計	206	293
四半期包括利益	1,143	1,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,143	1,151
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(単元株式数の変更)

平成29年4月28日開催の取締役会において、単元株式数の変更について決議いたしました。これにより、平成29年10月1日付で単元株式数が1,000株から100株に変更となりました。

変更の理由は、全国証券取引所の「売買単位集約に向けた行動計画」にて、普通株式の売買単位を100株に統一することが示されていることを踏まえ、当社株式の流動性を一層向上させ、個人投資家をはじめとする投資家層の拡大を図るため、単元株式数の引き下げを行うものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	8,144	1,129	9,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	42	42
計	8,144	1,171	9,315
セグメント利益	893	239	1,132

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,132
セグメント間取引消去	8
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,141

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	8,099	1,104	9,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	52	52
計	8,099	1,156	9,256
セグメント利益	766	201	967

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	967
セグメント間取引消去	7
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	975

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、平成30年1月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

(1) 自己株式の消却を行う理由

資本効率の向上および株主に対する一層の利益還元

(2) 自己株式の消却の概要

①消却する株式の種類 当社普通株式

②消却する株式の総数 200,000株

(消却前の発行済株式総数に対する割合 1.75%)

③消却予定日 平成30年2月15日

(3) 上記の消却後の発行済株式総数は、11,200,000株であります。